

**2021年3月期第3四半期
決算説明資料**

名古屋鉄道株式会社

2021年2月8日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	357,116	467,453	△ 110,336 (△23.6)	交通 △48,725 流通 △26,647 レジャーサービス △23,869 運送 △9,186 航空関連サービス △3,887 その他 △3,874 不動産 △2,136
営業費用	367,012	424,332	△ 57,320	商製品売上原価 △20,825 人件費 △11,227
営業利益	△ 9,895	43,121	△ 53,016 (—)	交通 △34,372 レジャーサービス △11,669 運送 △3,303 流通 △2,575 航空関連サービス △1,110 その他 △827 不動産 +1,174
経常利益	△ 3,485	45,464	△ 48,950 (—)	営業外収益 +4,142 営業外費用 +75
特別利益	3,830	6,984	△ 3,153	整理損失引当金戻入額 △4,816 投資有価証券売却益 +1,618
特別損失	4,872	2,911	1,961	投資有価証券評価損 +995
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 8,820	28,526	△ 37,347 (—)	

営業収益 : 【減収】 新型コロナウイルス感染症の影響により全事業で減収。

営業利益 : 【赤字化】 新型コロナウイルス感染症の影響による赤字化。

経常利益 : 【赤字化】 営業赤字による赤字化。

親会社株主に帰属する
四半期純利益 : 【赤字化】 経常赤字による赤字化。

《連結子会社数》 : 111社 (増加なし)
(減少 2社) めいてつ企画 (被合併)、東鉄観光 (被合併)

《持分法適用会社数》 : 15社 (増減なし)



連結業績の推移

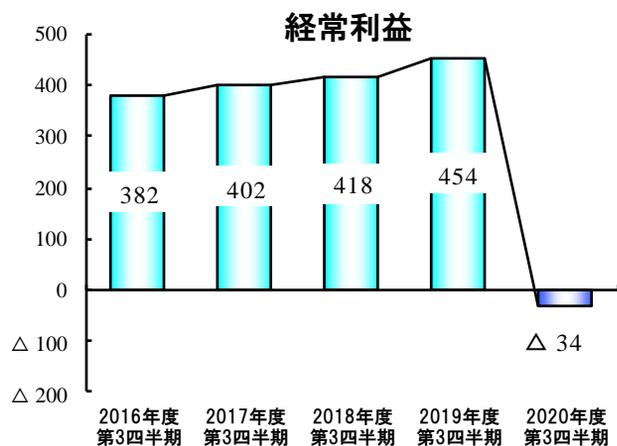
(単位:億円)



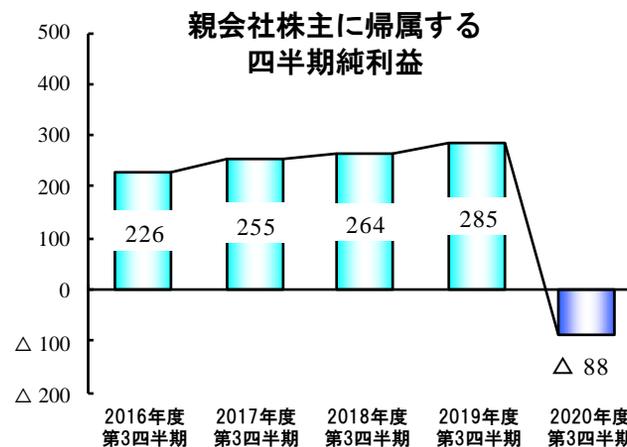
4期ぶり減収



第3四半期初の赤字



第3四半期初の赤字



13期ぶり赤字



※ 営業利益・経常利益について、四半期開示制度を導入した2003年度以降第3四半期として初の赤字

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	79,014	127,740	△ 48,725	△ 38.1	新型コロナウイルス感染症の影響での外出自粛により全事業で減収
運送事業	96,882	106,068	△ 9,186	△ 8.7	新型コロナウイルス感染症の影響での貨物取扱量の減少などにより全事業で減収
不動産事業	64,803	66,939	△ 2,136	△ 3.2	分譲マンション販売による増収はあったものの、賃貸事業における駐車場利用の減少などにより減収
レジャー・サービス事業	15,656	39,526	△ 23,869	△ 60.4	新型コロナウイルス感染症の影響での観光需要の低下により全事業で減収
流通事業	81,549	108,197	△ 26,647	△ 24.6	新型コロナウイルス感染症の影響での外出自粛や、百貨店業における臨時休業により全事業で減収
航空関連サービス事業	16,106	19,993	△ 3,887	△ 19.4	新型コロナウイルス感染症の影響での機内食事業の受注減少により減収
その他の事業	30,582	34,456	△ 3,874	△ 11.2	新型コロナウイルス感染症の影響での受注減少により減収
調整額	△ 27,479	△ 35,469	7,990	—	
合計	357,116	467,453	△ 110,336	△ 23.6	

営業利益	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	△ 11,867	22,505	△ 34,372	—	減収による赤字化
運送事業	2,068	5,371	△ 3,303	△ 61.5	減収によりトラック事業は減益、海運事業は赤字化
不動産事業	9,549	8,374	1,174	14.0	分譲マンション販売における増益
レジャー・サービス事業	△ 10,056	1,613	△ 11,669	—	減収によりホテル業や観光施設事業は赤字化、旅行業は赤字幅拡大
流通事業	△ 1,868	706	△ 2,575	—	減収により百貨店業は赤字幅拡大、その他物品販売は赤字化
航空関連サービス事業	1,704	2,814	△ 1,110	△ 39.4	減収による減益
その他の事業	699	1,527	△ 827	△ 54.2	減収による減益
調整額	△ 125	207	△ 332	—	
合計	△ 9,895	43,121	△ 53,016	—	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	211,714	189,143	22,571	資金調達による現金及び預金の増加
固定資産	969,503	975,836	△ 6,332	
有形固定資産	830,720	831,771	△ 1,051	
無形固定資産	9,205	10,002	△ 796	
投資その他の資産	129,577	134,062	△ 4,484	保有上場株式の時価下落による投資有価証券の減少
資産合計	1,181,217	1,164,979	16,238	
流動負債	258,334	262,787	△ 4,453	支払手形及び買掛金の減少
固定負債	499,895	463,790	36,105	社債の増加
負債合計	758,229	726,577	31,652	
純資産合計	422,987	438,401	△ 15,414	株主資本 △13,567 親会社株主に帰属する四半期純利益 △8,820 剰余金の配当 △4,917
負債純資産合計	1,181,217	1,164,979	16,238	
連結有利子負債合計	477,886	423,376	54,509	【参考】純有利子負債残高 425,294 (前期末比 +34,620)

個別運輸成績

◆輸送人員◆

(単位：千人、%)

輸送人員	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	55,223	98,286	△ 43.8
定期	170,001	208,108	△ 18.3
計	225,224	306,394	△ 26.5

◆旅客収入◆

(単位：百万円、%)

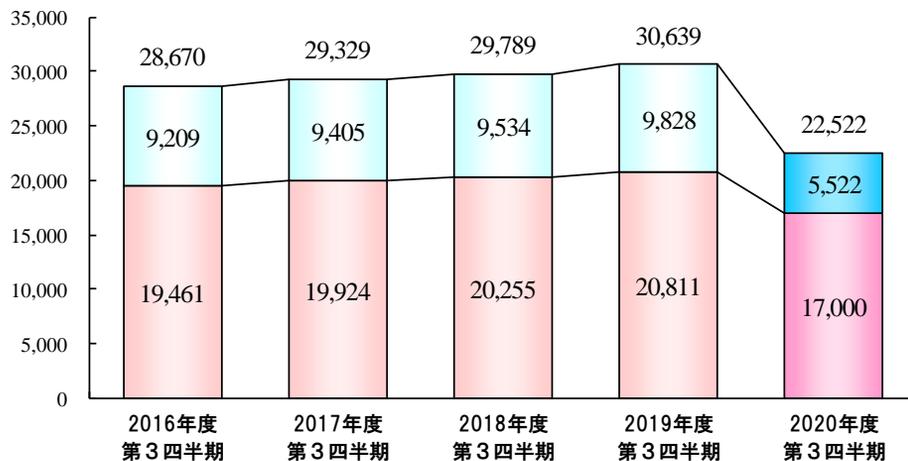
旅客収入	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	19,814	39,239	△ 49.5
定期	24,661	30,728	△ 19.7
計	44,476	69,968	△ 36.4

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

◆輸送人員の推移◆

□ 定期 □ 定期外

(単位：万人)



◆旅客収入の推移◆

(単位：億円)

□ 定期 □ 定期外



2021年3月期 連結業績予想

※11月時点

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2020年度 今回予想	前回予想 (※)	増減	(対前回予想)	2019年度 実績	増減
営業収益	477,000	493,000	△ 16,000 (△3.2)	レジャー・サービス △6,000 交通 △5,200 流通 △4,400 その他 △900 運送 △600 不動産 △500 航空関連サービス △400	622,916	△ 145,916 (△23.4)
営業利益	△ 20,000	△ 21,500	1,500 (—)	不動産 +1,600 運送 +1,000 航空関連サービス +900 流通 +400 その他 +400 レジャー・サービス △1,900 交通 △900	47,363	△ 67,363 (—)
経常利益	△ 13,000	△ 18,000	5,000 (—)	営業外収益 +3,500 営業外費用 —	49,288	△ 62,288 (—)
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 27,500	△ 24,000	△ 3,500 (—)	特別利益 +500 特別損失 +7,000	28,879	△ 56,379 (—)

2020年度今回予想は、2021年1月を新型コロナウイルス感染者数のピークとして2月より一定期間にかけて緩やかに感染者数が減少していくとの仮定で集計。

前回予想(11月10日)比では、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益は、すべての事業で減収。営業損益は、コスト削減により、交通事業、レジャー・サービス事業を除いた事業で改善を見込む。雇用調整助成金の計上により、経常損益は改善を見込むものの、特別損益の悪化等を見込み、当期純損益は、赤字幅拡大となる見通し。

2021年3月期 個別業績予想

※11月時点 ()は増減率

(単位：百万円、%)

	2020年度 今回予想	前回予想 (※)	増減	(対前回予想)	2019年度 実績	増減
営業収益	80,000	83,400	△ 3,400 (△4.1)	鉄軌道事業、開発事業ともに減収	109,742	△29,742 (△27.1)
営業利益	△ 4,000	△ 2,200	△ 1,800 (—)	減収により赤字幅拡大	21,767	△25,767 (—)
経常利益	△ 1,000	800	△ 1,800 (—)	営業損益の悪化により赤字化	26,819	△27,819 (—)
当期純利益	△ 10,800	△ 1,400	△ 9,400 (—)	特別損益の悪化により赤字幅拡大	18,180	△28,980 (—)

◆ 1株当たり配当金 ◆

(単位：円)

	2021年3月期 (予想)	2020年3月期
配当金額	0.00	25.00

前回予想(11月10日)比では、営業収益は、鉄軌道事業、開発事業ともに減収。営業損益は、減収により赤字幅拡大となる見通し。経常損益は、営業損益の悪化に加え、営業外費用の増加により赤字化を見込む。当期純損益は、経常損益の赤字化に加え、特別損益の悪化を見込むため、赤字幅拡大となる見通し。



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。